

## 授業科目

## 高次脳機能障害評価学

担当教員名 能登 真一	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

## 授業の概要

脳損傷によって生じる高次脳機能障害に関して、個々の症状や定義、メカニズムを整理するとともに、各症状を検出するための評価方法を紹介する

## 授業の目的

高次脳機能障害を有する対象者に対して、評価を適切に実施できるようにすること

## 学習目標

1. 高次脳機能障害の個々の症状の定義を述べることができる
2. 個々の症状を具体的に説明することができる
3. 個々の症状を検出するための検査方法を列挙することができる
4. 評価方法のいくつかを実施できる
5. 様々な評価結果から全体像をまとめることができる
6. 高次脳機能障害に関心を持ち、真摯な態度で学習できる

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	大脳の機能解剖と高次脳機能の局在	講義	能登 真一
2	注意障害	講義, 演習	能登 真一
3	記憶障害	講義, 演習	能登 真一
4	失語	講義, 演習	能登 真一
5	失行	講義, 演習	能登 真一
6	失認	講義, 演習	能登 真一
7	半側空間無視1	講義, 演習	能登 真一
8	半側空間無視2	講義, 演習	能登 真一
9	遂行機能障害	講義, 演習	能登 真一
10	社会的行動障害	講義, 演習	能登 真一
11	認知症	講義, 演習	能登 真一
12	全般的評価	講義, 演習	能登 真一
13	個別機能評価	講義, 演習	能登 真一
14	評価結果の解釈と全体像の把握	講義	能登 真一
15	まとめ	講義	能登 真一

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	標準作業療法学 高次脳機能作業療法学	能登 真一 編集	医学書院	2012年	3,800円+税	
参考書	PT・OTのための高次脳機能障害ABC	網本 和 他	文光堂	2015年	5,940円+税	
その他の資料						

## 評価方法

期末試験 (80%) + レポート (20%)

## 履修上の留意点

毎回、講義に演習を織り交ぜる予定である

## オフィスアワー・連絡先

月曜日 12:00~15:00  
火曜日 12:30~13:00  
noto@nuhw.ac.jp